



編集・発行 邑楽町役場企画課
〒370-0692(住所記入不要)
☎0276-88-5511(代案)
☎0276-47-5007(企画課直通)
☎0276-89-0136
https://www.town.ora.gunma.jp
koho@swan.town.ora.gunma.jp

おうらお知らせメール
配信を希望する人は、右のQRコード
から、ご登録をお願いします。
https://cc9.easypocket.jp/QR737/PK
http://cc9.easypocket.jp/K/ (携帯電話)

QRコード (PC)

QRコード (携帯)

第八十六回

若い人たちに語り継ぎたい、
次の世代に残しておきたい。
貴重な話をお届けしますー。

あすへひとこと

いつの時代までも残したい

邑楽町の昔ばなし



令和初の初もうで。皆さんはどこに行きますか。町内にも神社やお寺はたくさんあります。令和初はそこに足を運ぶのも一つかもしれません

初もうでは長良神社

「年の始めのためたさよ」の歌で始まる新年の初参り。除夜の鐘を合図に隣のご主人と一緒に家を出る。空の星を眺めながら村社長良神社に向かう。途中で会う人々と新年のあいさつを交わしながら神社に着く。

すでに到着している人は大勢いる。互いにあいさつを交わす新年の出会いである。神社ではかがり火をたき、どんどん焼きをしている。旧年のお札をもっていき、どんどん焼きに投げ入れ、天に昇れと燃やす。それから神社の本殿に参拝し、家内安全など祈願する。

新しいお札を受け、お神酒や甘酒などを頂きながら親しい皆さんと元気であることを確認し、再会した喜びを味わう。「一年の計は元旦にあり。今年も頑張りましょう」と手を握り合って別れ、帰途につく。

初午祭りのすみつかれ

私の家の屋敷鎮守様は稲荷様です。毎年2月の初午の日には五穀豊穡、家内安全をお祈りします。以前はこの日、色紙に「奉納、二月初午、正一位稲荷大明神」と筆で三行に書き分け、しのだけ棒につるし、のぼりにして立ててお祝いし

ました。今も赤飯またはこしあん団子とすみつかれを、つとっこ(わらづと)に入れてお供えています。

すみつかれの作り方は、まず鬼おろしで、大根とニンジンをすりおろします。一方、節分の豆を残しておいて、皮をよくはぎます。また、油揚げを細かく切ります。これらの材料を油で炒め、砂糖と醤油で好みの味つけをして煮あげます。これで出来上がりです。

昔は大鍋でたくさん作ったものです。このすみつかれは、うまいからといって、好きなときに作るわけにはいかない縁起物です。もしも、もっと食べたいときには、初午に作った元の煮汁に足して作るならよいことになっています。その他、二の午、三の午に作ることは差し支えありません。

昔は旧暦で行事を行い、初午の日にはお風呂をたいてはいけないと言われてきました。節分が過ぎ、初午のころは西風が強く吹くので火事の恐れがあり、こうしたことわざが伝えられたのでしょう。

昔の人は寒いこの時季、脂肪、ビタミン、たんぱく質などをたっぷり含んだお稲荷様好みのすみつかれに栄養を求めたのでしょうか。冷えたすみつかれの味は格別のおいしさです。

【発行】邑楽町老人クラブ連合会 【編集】あすへひとこと編集委員会

(平成7年3月31日発行「邑楽町の盆と正月(第五集)あすへひとこと」)

より (平成13年11月11日発行「邑楽町のくらしとたべもの(第七集)あすへひとこと」)

ひとりごと From editors

▶令和初の新年を迎えました。昨年5月の改元から、あちこちで「令和初」や「令和最初」をたくさん耳や目にしました。広報おうらでも町内対抗バレーボール大会や盆野球などさまざまな場面で登場しています。令和婚も取り上げました。▶今年も、もう少し「令和初」が続きそうです。令和初の年賀状も楽しみです。皆さんも今しかできない「令和初」をもう少しお楽しみください。▶最近では年賀状を遠慮する傾向が広がっているようです。SNSやメールであいさつができることも要因のようです。でもやっぱり、紙から直接伝わる独特の感覚は何事にも代え難いですね。ぬくもりというか、温かさというか……。さあ、冬も本番。広報おうらを背中とお腹に貼って過ごしたいくらいです。(小室)



輝かしき
(多々良沼公園)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)

